ニュースコンテナー

No. 532　　発行　2023年９月10日

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336 -0015　さいたま市南区大字太田窪 2051-2
TEL.0120-01-2590　　FAX.048-886-2817
URL：www.knights.co.jp

大腸菌群数に係る排水基準の見直しについて

環境省は 2023 年 8 月 28 日、「2023 年度 大腸菌群数の排水基準の見直しに係る検討会」を開催しました。

環境基本法に基づく水質汚濁に係る環境基準のうち、ふん便汚染の汚濁の指標として用いられてきた生活環境の保全に関する環境基準の大腸菌群数については、実際はふん便汚染の指標性が低いことが指摘されている事と、近年の簡便な大腸菌の培養技術等の確立を背景に、2022 年 4 月に生活環境項目環境基準の大腸菌群数が大腸菌数に見直された事を踏まえ、排水基準の大腸菌群数の見直しについて検討がこれまでにも何度か、行われてきました。

今回の検討会における内容は、排水基準の指標を「大腸菌群数」から「大腸菌数」とし、現行の大腸菌群数の基準値（3000 個/㎤）に相当する、大腸菌数 800 CFU/mlを基準値とすることを、前回の検討会における指摘事項に対する対応（関連業種における排水実態調査とそれに基づく解析等）を踏まえて改めて提案され、本会内で承認されました。

今後、大腸菌数の排出基準値案については、2024 年 4 月の施行を目指して、2023 年 9 月にはパブリックコメントの実施、同 10 月に報告をとりまとめ、同 11 月に中央環境審議会での審議、答申を経て同 12 月に改正省令などの公布が行われる予定です。

当社では、多くの排水分析について長年の実績がございます。ご不明な点等ありましたら、是非一度ご相談ください。

資料　2023 年 8 月 21 日付　環境省報道発表資料

環境検査箇所　阪口玲子

下記の記事をご希望の方は編集室佐藤までご連絡下さい。

1. ストックホルム条約へのシロキサン類の提案文書案についての意見募集
2. 電池指令を置きかえる電池規則を官報公示

PFHxS 及びその塩の第一種特定化学物質への指定に関して

2022 年 11 月 18 日に開催された第 229 回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会において、ストックホルム条約の新規対象物質であるペルフルオロヘキサンスルホン酸（PFHxS）及びその塩について、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（以下、「化審法」という。）の第一種特定化学物質に指定することが適当であると結論が出されました。

また、2023 年1月 17 日に開催された第 231 回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会において、当該物質群に関して、第一種特定化学物質への指定と併せて講じることが適当な措置について結論が出されました。

これらの審議結果を踏まえ、2023 年 8 月 7 日、中央環境審議会長から環境大臣に対し、答申がなされました。

今後の予定（不確定要素を含むため、前後する可能性があります。）

- 2023 年夏以降：化審法施行令の一部を改正する政令案に関するパブリックコメント
  TBT 通報（※）
- 2023 年秋以降：改正政令公布
- 2024 年春以降：施行

※世界貿易機関（WTO）の貿易の技術的障害に関する協定（TBT 協定）に基づき、WTO 事務局に本件を通報し WTO 加盟国から意見を受付

当社では、PFHxS 等の PFAS 分析に対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

資料　2023 年 8 月 1 日付　環境省報道発表資料

有機分析箇所　佐藤亮平

---

3. 「PFOS、PFOA に関する Q&A 集」及び「PFAS に関する今後の対応の方向性」について
4. 2022 年度 大気中水銀バックグラウンド濃度等のモニタリング調査結果について
5. 食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（案）に関する意見募集について
6. 低濃度 PCB 廃棄物の無害化処理の認定申請について

お問い合わせはこちら

耳より情報

PFAS の小冊子進呈中！

PFAS とは PFOS や PFOA などの有機フッ素化合物の総称で、撥水、撥油性を有し、難分解性で安定しているために、様々な製品に使用されてきました。
しかし、その安定性から環境中の残留性や生体内への蓄積性が問題視され、国内外で規制の動きがあります。
当社では、PFAS の規制などに関する情報を小冊子としてまとめ、希望者に進呈いたします。

過去の記事はこちら